

栽培のしおり

【コマツナ(アブラナ科)】

露地栽培では、3月から10月中旬までいつでも播種が可能です。

トンネルやハウス栽培を行うと一年中収穫が可能です。

カロチン含有量はほうれん草より多く、シュウ酸も少なく、ゆでて水にさらすといった処理も不要です。
ビタミンC、鉄分、カルシウムも豊富です。特にカルシウムはほうれん草の5倍もあり、

そのうえ水溶性ですから吸収しやすいのが特徴です。

栽培時期

年中できますので、3月上旬から10月上旬まで種まきできます。

栽培のポイント

石灰をまいて、土を中和する。秋から冬にかけて育てると、質のいいものが収穫できる。堆肥を十分にすき込むように。水はけの悪い畑なら、高畝とする。

品 種

丸葉小松菜 卵月 ゴセキ晩生

土壌酸性度

やや強い(ph5.5~6.0)

連作障害

有(1~2年)

元 肥(1米当たり)

堆肥1kg 苦土石灰100g 化成肥料50g

タネまき

溝まきとベットまきがある。普通は前者でよいが、地下水の高い湿地ではベットづくりの方がよくできる。まき溝は60cm間隔にクワ幅よりやや広いぐらい(約15cm幅)、深さ7~8cmにつくり、堆肥、化成肥料を入れ、4~5cm覆土し、肥料に直接種が触れないようにして溝いっぱいまく。

発芽日数

間引き

本葉1枚のときと 草丈7~8cmのころの2回に間引きし、育ちの揃ったものを残す。最終間隔は5~6cm。

追 肥

夏まきは、育ちが早いので必要ないが、秋まきや冬まきでは間引きが終わった頃に若干の追肥をする。

収 穫

草丈が15~20cmになったら順次抜き取って収穫する。

栽培実績

品 種(xxxxxxxx)

2009土作り(A-4区画)

11/27 化成肥料、堆肥
11/28 マルチ、種蒔、トンネル掛け
12/07 発芽
12/15 間引き
12/08 発育不良、撤去

品 種(xxxxxxxx)

2009土作り(G1~3区画)

12/10 PH6.7
12/14 化成肥料、堆肥
10/01/08 マルチ、種蒔、穴あきトンネル掛け
01/15 敷藁
01/17 発芽
01/25 穴なしトンネルに掛け替え
02/09 間引き
02/21 間引き
02/25 穴なし→穴ありトンネルに掛け替え
03/03 間引き、追肥
03/14 穴ありトンネル撤去
04/18 収穫完

品 種(xxxxxxxx)

2010土作り(I-2区画)

05/27 化成肥料、堆肥
05/29 種蒔、ネット掛け
XX/XX 発芽
07/07 発育不良、撤去

品 種(xxxxxxxx)

2010土作り(J3区画)

05/25 化成肥料、堆肥
05/29 種蒔、ネット掛け
06/01 寒冷紗かけ
06/03 発芽
07/07 収穫完

品 種(xxxxxxxx)

2010土作り(J2区画)

08/16 苦土石灰
08/30 化成肥料、堆肥
09/08 種蒔
09/12 発芽
09/21 間引き
10/07 消毒
10/23 収穫完

品 種(xxxxxxxx)

2010土作り(S07区画)

11/12 苦土石灰、自家堆肥
11/16 化成肥料、堆肥
11/21 種蒔
11/26 発芽
12/XX 間引き